

科目名	建築リノベーション講座						年度	2026	
英語科目名	Architectural Renovation						学期	前期	
学科・学年	建築学科 3年次	必/選	選	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	杉浦 文美	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計		

【科目の目的】

下記を目的とする。

- ・建築物における福祉住環境コーディネーターの重要性に関する基本的な内容を理解する。
- ・福祉住環境コーディネーター2級の資格の取得に向けた勉強をすることができる。

【科目の概要】

建築物における福祉住環境コーディネーターの重要性に関する基本的な内容を理解する。高齢化社会の日本において、現状の住宅を福祉視点で考えた時に、どのような住環境整備をすることが望ましいのか、様々な病状や環境から判断できるように資格試験の問題を通して学ぶ。

当事者本人、福祉住環境コーディネーターのそれぞれに必要な視点を身につけることが重要であり、設計においては関連する法律を、施工においては設備関連の清掃や修繕の方法、そして全体の施工計画を把握する。また、実務におけるトラブル事例や対応策について教養として身につけることで社会に出てからの仕事に役立てる。

【到達目標】

次の4点を到達目標とする。

- A：福祉住環境コーディネーターに要求される考え方がわかる。
- B：建築物のバリアフリー化の計画に必要な知識を持っている。
- C：当事者本人、福祉住環境コーディネータ、それぞれに必要な視点がわかる。
- D：福祉住環境コーディネーター2級資格試験の受験に取り組む。

【授業の注意点】

テキスト、配布資料について授業前に読んでおき、授業後は復習を行うこと。
問題解決に積極的に取り組むこと。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	考え方を十分に理解している		考え方を理解している		考え方を理解できていない
到達目標 B	建築物のバリアフリー化に必要な知識を十分に持っている		建築物のバリアフリー化に必要な知識を持っている		建築物のバリアフリー化に必要な知識を持っていない
到達目標 C	当事者本人、福祉住環境コーディネータ、それぞれに必要な視点を十分に理解している		当事者本人、福祉住環境コーディネータ、それぞれに必要な視点を理解している		当事者本人、福祉住環境コーディネータ、それぞれに必要な視点を理解していない
到達目標 D	資格試験の対策が十分にできる		資格試験の対策ができていない		資格試験の対策ができていない
到達目標 E					

【教科書】

福祉住環境コーディネーター検定試験 2級公式テキスト/東京商工会議所
福祉住環境コーディネータ2級 重要問題集&予想模試/ユーキャン学び出版

【参考資料】

配布プリント

【成績の評価方法・評価基準】

毎回の授業に参加し、積極に取り組んでいるか
毎回の確認テスト、期末試験等で総合的に評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		建築リノベーション講座			年度	2026
英語表記		Architectural Renovation			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	高齢者や障害者を取り巻く社会状況①	高齢者を取り巻く社会状況と住環境とは？	1 高齢者の生活状況とは	高齢者の生活状況について理解している	1	
			2 住環境整備の重要性	住環境整備の重要性について理解している		
2	高齢者や障害者を取り巻く社会状況②	介護保険制度とは？	1 介護保険制度とは	介護保険制度について理解している	1	
			2 認知症に対する取り組み	認知症に対する取り組みについて理解している		
			3 高齢者の居住の安定確保	高齢者の居住の安定確保を理解している		
3	福祉住環境コーディネーターの意義①	障害者福祉施策の概要とは？	1 障害者の生活と住環境	障害者の生活と住環境について理解している	1	
			2 障害者福祉施策	障害者福祉施策について理解している		
4	福祉住環境コーディネーターの意義②	福祉住環境コーディネーターの意義と役割とは？	1 意義	福祉住環境コーディネーターの意義について理解している	1	
			2 役割	福祉住環境コーディネーターの役割について理解している		
5	福祉住環境コーディネーターの意義③	福祉住環境コーディネーターに要求される職業倫理とは？	1 職業倫理とは	職業倫理について理解している	1	
			2 個人情報保護法とは	個人情報保護法について理解している		
6	健康・障害と高齢者・障害者の状態像①	健康・障害・加齢とは？	1 健康とは	健康について理解している	1	
			2 障害とは	障害について理解している		
			3 加齢とは	加齢について理解している		
7	健康・障害と高齢者・障害者の状態像②	高齢者・障害者の生活機能と関連疾病とは？	1 生活機能とは	生活機能について理解している	1	
			2 様々なリハビリテーション	様々なリハビリテーションについて理解している		
8	相談援助の考え方①	介護保険制度におけるケアマネジメントとは？	1 介護保険制度によるケアマネジメント	介護保険制度によるケアマネジメントについて理解している	1	
			2 福祉住環境整備におけるアセスメント	福祉住環境整備におけるアセスメントについて理解している		
9	相談援助の考え方②	相談援助の基本視点と援助の方法とは？	1 相談援助の基本視点	相談援助の基本視点について理解している	1	
			2 相談援助の方法	相談援助の方法を理解している		
10	福祉住環境整備の進め方①	関連する主な職種とは？	1 チームアプローチ	チームアプローチについて理解している	1	
			2 関連する主な職種	関連する主な職種について理解している		
11	福祉住環境整備の進め方②	退院・退所時の住環境整備とは？	1 退院時の整備	退院時の整備について理解している	1	
			2 退所時の整備	退所時の整備について理解している		
12	福祉住環境整備の基本技術①	住環境整備の基本技術とは？	1 段差解消	段差解消について理解している	1	
			2 手摺の取り付け	手摺の取り付けについて理解している		
			3 建具への配慮	建具への配慮について理解している		
13	福祉住環境整備の基本技術②	生活行為別住環境整備の手法とは？	1 外出	外出について理解している	1	
			2 屋内移動	屋内移動について理解している		
14	在宅生活における福祉用具の活用①	福祉用具の意味と適用とは？	1 福祉用具とは	福祉用具について理解している	1	
			2 選択・適用のプロセス	選択・適用のプロセスについて理解している		
15	在宅生活における福祉用具の活用②	生活行為別みた福祉用具の活用とは？	1 起居・就寝	起居・就寝について理解している	1	
			2 移動	移動について理解している		
			3 排泄・入浴	排泄・入浴について理解している		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等